

## 「ダブルダッチ」のプロチーム 松本深志高生を指導

加藤さん(右端)らプロのパフォーマーから指導を受ける  
松本深志高のダブルダッチ部員

## 世界を魅了する技 間近に

2本の縄を使って技を見せる縄跳び「ダブルダッチ」の世界大会で優勝経験があるプロチーム「H A R I B O W(ハリボー)」が27日夜、松本市内で松本深志高校(松本市)「ダブルダッチ」部の26人を指導した。ともにハリボーのメンバーで同市出身の海野鷹幸さん(26)と加藤周平さん(23)ら5人が華麗な技を披露し、「松本でも世界に通用する力を付けられる」と後輩たちにエールを送った。

## 卒業生の海野さんが申し出

ハリボーは海野さんらが2020年に結成したチーム。東京を拠点に活動している。昨年英国のオーディション番組に出演したのを機にヨーロッパの音楽フェスなどに招かれるように。海野さんが代表の会社を興し、世界各地のイベントへ演者を派遣している。今月3日には川崎市で開かれた世界大会で優勝した。現在は国内のダブルダッチの競技団体に技術を伝えるツアーをしている。

つを教わった。

5人は音楽に合わせたパフォーマンスも実演。バク転をしながら2本の縄の間をすり抜けたり、跳び手と回し手が一瞬で入れ替わったりするアクロバティックな技に部員らが歓声を上げた。ハリボーのファンという1年の小林輝智嘉さん(15)は「一つ一つの技が洗練されていて圧巻。あんな表現を目指したい」と興奮気味に話した。

海野さんは松本深志高ダブルダッチ部の卒業生でもあり、母校に声をかけて講習会が実現。同市中央2の信毎メディアガーデン前に集まった部員らは3班に分かれ、縄をた。

海野さんは「とがったパフォーマンスで世界を目指してほしい。松本からダブルダッチを盛り上げたい」と話した。